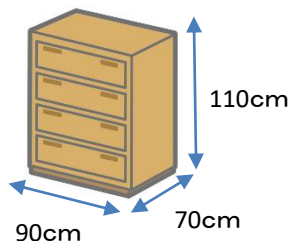


## ● 粗大ごみの収集がインターネットから申し込めます

令和2年10月1日から、粗大ごみのインターネット受付が始まりました。ご家庭で不要になった粗大ごみの収集申込を24時間受け付けています。粗大ごみのお申し込みは、**便利なインターネット受付**をご利用ください。

### 申込方法

パソコンやスマートフォンから粗大ごみ収集受付サイトにアクセスし、メールアドレスを入力すると、申込専用URLが送付されます。そのURLにアクセスし、名前や住所、出すものを入力すると、手数料が決定します。収集日は申込日の7日後（混み具合による）から2か月先までを選ぶことができます。



#### 粗大ごみの収集方法



左2次元コードで粗大ごみの収集方法を確認してから粗大ごみ収集受付サイトへアクセスしてください。

申し込みの前に、たちかわごみ分別アプリや、市のホームページのごみ分別辞典を使って、市で収集できるものか確認しましょう。また、出すもののサイズを測っておくスムーズに入力できます。

#### たちかわごみ分別アプリ

Google Play



App Store



#### 立川市ごみ分別辞典



### 収集までのながれ

申し込み時に決定した手数料分の粗大ごみ処理券を収集日までに購入し、粗大ごみ処理券を粗大ごみに貼り、収集日の朝8時までに出します。収集日当日の立会は不要です。

## ● ごみ処理基本計画を改定しました

平成27年度に策定した10年期間の立川市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画について、前期5年が経過したため、社会動向・社会情勢を確認し、ごみ減量の進捗状況を検証し、必要な改定を行いました。

平成19年度＝基準年度、平成30年度＝実績値、令和6年＝目標値

### 数値目標1 ごみ排出量を約30%減らす

平成19（2007）年度 61,844t → 平成30（2018）年度 49,852t → 令和6（2024）年度 41,660t

市民1人1日当たり  
(2007) (2018) (2024)  
646g → 542g → 519g

### 数値目標2 燃やせるごみ量を約50%減らす

平成19（2007）年度 45,584t → 平成30（2018）年度 25,504t → 令和6（2024）年度 22,483t

市民1人1日当たり  
(2007) (2018) (2024)  
451g → 320g → 266g

### 数値目標3 資源化率を約45%にする

平成19（2007）年度 33.8% → 平成30（2018）年度 43.2% → 令和6（2024）年度 45.1%

### 数値目標4 埋立量0t/年を継続する

平成19（2007）年度 605t → 平成30（2018）年度 0t → 令和6（2024）年度 0t

### 数値目標5 ごみ処理施設の稼働率を100%にする

①清掃工場の稼働率 ②総合リサイクルセンターの稼働率

平成25（2013）年度 平成30（2018）年度 令和4（2022）年度  
① 94.7% → ① 100.0% → 100.0%  
② 100.0% → ② 89.0% → 令和6（2024）年度  
100.0%

## ● 出来ることから始めよう

### 数値目標 1 ごみ排出量を約30%減らす



目標達成まであと1人1日当たり23g

例えば、レジ袋1枚3g、ペットボトル1本20gとした場合、マイバッグやマイボトルを使えば、23gを達成することができます。

### 数値目標 2 燃やせるごみ量を約50%減らす



目標達成まであと1人1日当たり54g

国民1人当たりの食品ロスの量は1人1日当たり132g（おにぎり1個分）と言われています。また、生ごみの約70%は水分です。食品ロスをなくすこと、生ごみの水切りをすることで、54gは達成することができます。

### 数値目標 3 資源化率を約45%にする



目標達成まであと1.9%

燃やせるごみの中には、紙類、布類、プラスチック類など、リサイクルできるものが20%以上含まれています。正しく分別することで、資源化率を上げることができます。また、汚れたプラスチックや、異物が混入するとリサイクル率が低下するので、きれいにしてから、分別して出しましょう。

### 数値目標 4 埋立量0t/年を継続する

焼却灰をエコセメントの原料として再利用することで、平成27年度から埋立はなくなりましたが、焼却灰に有害物が混入するとエコセメントにできなくなります。電池、バッテリー、蛍光灯、水銀体温計などは、必ず有害ごみで出してください。



### 数値目標 5 ごみ処理施設の稼働率を100%にする

安定したごみ処理のため、100%を目指します。火災や事故による施設停止を防ぐためにも、有害ごみはきちんと分別し、スプレー缶は必ず使い切ってから出しましょう。



## ● コロナ禍におけるごみに関するお願い

### ■ ごみ袋はしっかりとしばって封をして出してください

感染症にかかるリスクが高まっています。ごみ袋をしっかりとしばり封をすることで、ご家族だけでなく、ごみを扱う収集作業員や処理施設の作業員への感染を防ぎ、感染拡大を防ぐことができます。

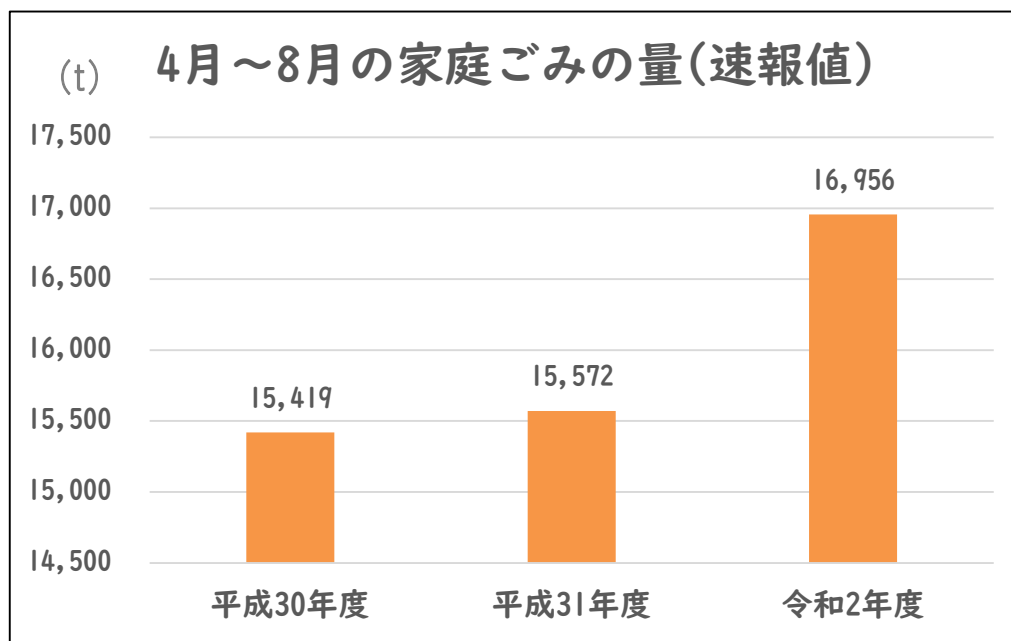


※特にマスクやティッシュなどは、飛び出して直接接触れることがないように、二重に袋に入れて出してください。

### ■ ごみの排出抑制にご協力ください

緊急事態宣言が発出された4月以降、ごみの排出量が例年と比較し、大幅に増えています。また、海外への資源の輸出が滞っているため、リサイクルできずにごみとして処分されるものが増えています。

日頃の生活の中で、一人ひとりがごみを減らすことを意識するようにしましょう。



### ■ ごみは朝8時までには排出してください

時差通勤や在宅勤務などで、生活リズムが変わり、ごみの排出が遅くなる方が増えています。8時以降に排出された場合、収集できない場合がありますので、ご注意ください。